



エコアクション21  
認証・登録番号0000002

令和5年  
5月  
(隔月発行)  
No.263

本社 〒120-0005 東京都足立区綾瀬5丁目24番5号  
☎ 03(3606)0119 FAX 03(3606)3339  
城南営業所 〒143-0015 東京都大田区大森西5丁目1番25号  
☎ 03(3765)6660 FAX 03(3765)6665  
松戸営業所 〒270-2231 千葉県松戸市矜台7丁目7番地の1  
☎ 047(366)2800 FAX 047(366)2803  
柏営業所 〒277-0832 千葉県柏市北柏4丁目1番15号  
☎ 04(7167)3883 FAX 04(7164)0120  
横浜営業所 〒232-0053 神奈川県横浜市南区井土ヶ谷下町28-15  
☎ 045(315)4001 FAX 045(315)4091  
鳥根営業所 〒696-0003 鳥根県邑智郡川本町因原519-3  
☎ 0855(72)0324 FAX 0855(72)2076  
<http://www.119suehiro.co.jp>

# 2023年度全国統一防火標語が決定しました

## 入選作「火を消して 不安を消して つなぐ未来」

消防庁は、家庭や職場・地域における防火意識の高揚を図ることを目的に、一般社団法人・日本損害保険協会（白川儀一会長）との共催で毎年、防火標語を募集を行ってききましたが、今回から、同協会と消防庁で全国統一防火標語を作成することとし、2023年度の全国統一防火標語を「火を消して 不安を消して つなぐ未来」に決定しました。

日本損害保険協会は1949年度から「全国統一防火ポスター」を制作、消防庁へ寄贈しています。1979年度からは、ポスターをより親しみやすいものにするため、モデルに女優やタレントを起用。ちなみに、同ポスターは若手女優やタレントの登竜門とされ、過去には松田聖子さんや中山美穂さん、上戸彩さん、長澤まさみさんらが起用されています。

なお、2023年度のポスターには、登山家の野口健さんの長女でタレン

トの野口絵子さんを起用しています。

野口絵子さんは2004年生まれ。小学校の頃から野口健さんに連れられて登山を開始。15歳の夏にはキリマンジャロに登頂、2023年には6000m峰のネパールのアイランドピークに登頂。また、テレビ番組の「世界ふしぎ発見」などでレポーターもつとめています。

令和4年（1～9月）の出火件数は2万7432件で、出火原因の1位は「たき火」でした。野口絵子さんは、防火について次のようにコメントしています。

「私は、山の上でもよく火を使います。暖をとったり、食事をしたりするために、火は欠かせません。冷え切った身体が暖まることで、心も温めることができます。しかし、一歩間違えれば、大きな事故につながります。そのため、火を扱う時は、



ポスターはタレントの野口絵子さんを起用

常に気を抜かないようにしています。火がなければ生きていけない私たち。だからこそ、火の取り扱いには十分に気をつけて、不安のない未来に灯りをともしましょう」

同協会では、ポスターを約20万枚を作成し、全国の消防署や役所など公共機関に向こう1年間掲出します。

## 令和5年度「危険物安全週間推進標語」決定！

### 最優秀作品「意志つなぐ連携プレーで事故防ぐ」

総務省消防庁と一般財団法人全国危険物安全協会は、危険物安全週間の行事を推進するため、危険物の災害の防止と危険物の貯蔵、取扱いの安全を呼びかける標語を募集していますがこのほど、令和5年度危険物安全週間推進標語が決定しました。

最優秀作品に選ばれたのは、佐賀県の古瀬佑亮さんの「意志つなぐ連携プレーで事故防ぐ」です。標語募集には全国から1万546作品の応募

があり、1次審査を経て43作品が選出され、審査委員会で最優秀作1、優秀作1、優良作10作品が選ばれま



審査委員会の委員たち。右が北野委員長

した。

最優秀作品は、令和5年度の危険物安全週間推進ポスターに採用され、モデルは、女子カーリングチーム「ロコ・ソラーレ」が起用されています。

# 結核はいつの時代に日本へ？ ニパウイルス感染症のニパとは？

問1 政府は、新型コロナウイルス感染症対策のマスク着用ルールを、3月13日以降は「個人の判断」に緩和しています。コロナ禍前の平時への移行を後押しすることがねらいですが、共同通信の調査では、マスクを「これまでと同じように着用する」との回答が56.8%を占めており、国民の“脱マスク”が進むには時間がかかりそうですね。これも新型コロナウイルス感染症という新興感染症に対する警戒心が強いから、といえます。

感染症には、新型コロナウイルス感染症のように過去にみられなかった「新興感染症」と、いったんは封じ込めたかにみえたものの再び流行する「再興感染症」があります。後者の代表例が狂犬病やマラリア、ペスト、コレラなどですが、最近、わが国で流行の兆しをみせている結核もそうです。

結核は、世界中で発生。なかでもインド、インドネシア、中国、フィリピン、パキスタン、ナイジェリア、南アフリカの7か国で全体の64%を占めています。

ところでこの結核もわが国ではかつて新興感染症でしたが、日本人に欠かせないものと一緒に渡来しました、それはいつの時代で、それは何でしょうか。

問2 結核といえば、エイズ、マラリアと並んで世界3大感染症のひとつです。新興感染症であるエイズはともかく、結核やマラリアは近い将来、克服されるといわれていましたが、いまだに多くの中・低所得国で主要な死因の一つとなっているのです。

ところで、マラリアは蚊による媒介動物感染症ですが、年間の罹患患者数を知っていますか？

問3 新興感染症といえば、最近は重症急性呼吸器症候群（SARS）、中東呼吸器症候群（MERS）、鳥インフルエンザ、エボラ出血熱などが流行し、人々に知られるようになってきました。新興感染症は、その多くが原因となるウイルスが以前から存在しており、人類が近年に至るまで

知ってて  
知らない  
「体」の常識

遭遇しなかっただけのことです。一方で、一般にあまり知られていない新興感染症もあります。たとえば、クリミア・コンゴ出血熱、日本紅斑熱、ニパウイルス感染症、マールブルグ病、ジカウイルス感染症などは一部の国で流行しており、私たちはあまり耳にしたことはありませんね。

クリミア・コンゴ出血熱は、ダニが媒介する急性熱性疾患で、その名の通りクリミアとコンゴでウイルスが分離され、名づけられました。日本紅斑熱は、世界に分布する紅斑熱群リケッチア症のひとつで、わが国特有の疾患であることから名づけられました。これらは国名や地方名が付けられており、流行地が分かります。また、ジカウイルス感染症はウガンダのジカ森林のアカゲザルから初めて分離され、名付けられました。では、ニパウイルス感染症のニパはどの場所から名付けられた？



肥満解消は野菜を食べて運動が一番



## ⑦1 ————— メタボ対策

### メタボの現状と対策

#### 肥満上位は沖縄、よく歩くのは兵庫

新型コロナウイルス感染症は、医学的には収束に向かわないものの、社会的にはともかく収束しつつあります。ようやく以前の日常を取り戻りつつありますね。メタボ気味の人でもジムに通ったり、新緑の下、外で思い切りウォーキングすることが出来ます。

ところで、全国的にメタボの人はどのくらいの割合でいるのでしょうか。

都道府県別に男性に限ってみると、肥満の上位は、①沖縄県45.2%、②宮崎県44.7%、③栃木県40.5%となっています。県民の4割以上が肥満とは。一方、肥満

答えは  
4めに  
あります

# 消防庁が火災予防の動画制作

## 住宅火災の第1位「こんろ火災」の対処方法紹介

総務庁消防庁ではこのほど、住宅火災の原因の上位を占めるこんろによる火災の低減を目的に、火災予防啓発動画「たしかめくんとポウサイちゃんのこんろ火災防止大作戦！」を制作しました。

動画は、こんろによる火災を防ぐためのポイント、万が一こんろ火災が発生した場合における対処方法を紹介する内容となっています。また、火災の拡大を防ぐことができる防災品の有効性についても紹介しています。

こんろによる火災は、令和3年中の住宅火災件数1万243件（放火を除く）のうち、1757件と約17%を占め、住宅火災原因の1位となっています。

また、後片付けのしやすさや節約

が少ないのは、①山口県22.1%、②福井県22.5%、③滋賀県23%となっています

肥満解消には食生活が重要ですが、では、野菜を食べて痩せる努力をしているか、というと、摂取量の少ない順に、①徳島県、②香川県、③沖縄県となっていて、沖縄の人はメタボを気にしていないようです。

また、ウォーキングもメタボ解消に欠かせませんが、よく歩いているのは、①兵庫県7964歩、②東京都7866歩、③神奈川県7796歩で大都市圏に住む人がよく歩いています。

一方、歩かないのは、①鳥取県5634歩、②青森県5976歩、③新潟県6005歩、の順で雪国の県が多いですね。

わが国のメタボの現状や対策を簡単に紹介しましたが、以後、流行の新しいメタボ解消方法を順次、考えていくことにします。

(つづく)

志向の高まりから、フライパンに少量の油で揚げ物をするいわゆる「揚げ焼き」を行うレシピもWEBなどで多く紹介されていますが、油の量が少なく、通常の揚げ物より短い時間で発火温度に達する危険もあります。

動画は、消防庁ホームページで自由に視聴が可能なほか、全国の消防機関などでの活用を考えています。

## 非常用電源の設置

### 12市町村で増加

消防庁はこのほど、災害対策本部が設置される地方公共団体の庁舎における非常用電源に関する調査を実施し、令和4年6月1日現在の状況を取りまとめ、公表しました。

それによれば、設置済み市町村数は、昨年度から12増加し1668市町村、設置率は95.8%になりました。この他、浸水対策済みは52市町村の増加、

地震対策済みは75市町村の増加となっています。同庁では、市町村で着実に整備が進んでいるものの、災害時の業務継続性の確保の観点から、稼働時間72時間以上の確保、浸水対策など一層の機能強化が求められる、としています。

## 救急車出動件数が過去最多

消防庁がまとめた令和4年中の救急車による救急出動件数は722万9838件にのぼり、対前年比103万6257件増、搬送人員は621万6909人で対前年比72万5165人増で、救急出動件数、搬送人員ともに対前年比で大幅に増加するとともに、集計開始以来、最多となったことが分かりました。内訳を事故種別ごとにみると、急病が489万8917件（67.8%）、一般負傷が110万1249件（15.2%）、交通事故が38万3060件（5.3%）などとなっています。

なお、5年ごとの推移をみると、急病の割合は増加している一方で、交通事故の割合は減少しています。

## 防災 ニュース

### 東京消防庁「令和4年中の火災の概要」

## 電気設備機器火災が増加傾向に

東京消防庁はこのほど、「令和4年中の火災の概要について」を公表しました。それによると、火災件数は3953件で、前年より14件増加しました。火災による死者は90人で、前年より4人増加しています。そのうち65歳以上の高齢者は61人でした。火災による負傷者は743人で前年より79人増加。そのうち65歳以上の高齢者は231人でした。

主な出火原因の上位3位は、放火（疑い含む）が601件で最も多く、次いでたばこの569件、ガステーブル等の331件でした。

なお、住宅・共同住宅等から出火した火災件数は、1600件台で推移しています。建物から出火した火災は2778件で前年比58件増、住宅・共同住宅等から出火した火災は1606件で前年比11件の減少でした。また、住宅・共同住宅等以外の建物から出火した火災は1172件で、前年比69件の増でした。

一方、電気設備機器による火災件数は増加傾向にあり、1462件で前年より63件の増加。全火災においても約4割を占めています。

## パッケージ型自動消火設備 I 型 スマートスプリネックス

# 施工の省力化・点検時の安全対策を実現 柔軟性のあるシステム設計が可能に

パッケージ型自動消火設備 I 型「スマートスプリネックス」は、スプリネックスの高い防火安全性能はそのまま、施工の省力化・点検時の安全対策を実現しています。また、多重伝送化でさらなる機能向上を実現しました。さらに、施工・点検にかかる負担を軽減し、柔軟性のあるシステム設計が可能となっています。大型物件への対応、施工性向上および点検時の安全対策として、誤操作や点検後の復旧忘れも防止します。

## スマートスプリネックスの4つの特徴

- 1 省配線＝受信盤ユニットから中継器をつなぐ幹線は、LANケーブルと電源線のみなので、配線敷設工事の大幅な省力化・省スペース化を実現。区画改修や増設への対応も容易です。
- 2 省スペース＝受信盤ユニットを、従来型より大幅に小型化。回線数により受信盤ユニットの外形が変化しないため、設置スペースの確保が容易。1台で最大250回線まで対応します。
- 3 火元を素早く特定＝受信盤ユニットには、タッチパネル式モニターを採用。当該区画名称が、瞬時にモニターに表示されるため、素早い初動対応が可能です。
- 4 自己診断機能搭載＝監視モード中も機器状態を自己診断し、異常発生時には、モニターへ異常内容を表示。それにより素早く原因を特定することで、早期復旧を実現します。

## スマートスプリネックスとスプリンクラーとの特徴比較

スマートスプリネックス	スプリンクラー
<b>消火性能</b>	
水の4倍の消火性能。冷却効果、浸透性、再燃防止効果も優れる。	大量の水槽の水で抑制。放水時間は20分以上。
<b>安全性</b>	
消火薬剤は人体にも安心の中性タイプ。経年変化も極めて少ない。	水は無害ではあるが、経年変化により赤さびや腐敗の可能性あり。
<b>スピード</b>	
火災の感知も消火もスピーディ。初期火災のうちに消火可能。	加熱により開放・放水する。放水開始にやや時間が必要。
<b>信頼性</b>	
2種類の感知器が火災を感知。誤放射の心配も少ない。	誤放射の発生率は低めだが、放水までやや時間がかかる。
<b>設置条件の柔軟性</b>	
地震に強く、場所や地域を選ばない。配管内は空の状態なので液漏れや凍結の心配も不要	配管内が常に水で充たされているため、寒冷地においては凍結防止の処置が必要。ヘッド破損と地震時の心配あり。
<b>維持管理の簡単さ</b>	
コンパクトな設備なのでシステムの維持管理が簡単。	水槽、ポンプユニット、自家発電設備など多岐に渡る設備の法定点検が必要。



パッケージ型「スマートスプリネックス」型自動消火設備

## クイズのこたえ

問1 日本で最古の結核は、縄文時代は未確認で、弥生時代の後期、つまり約2000年前、青谷上寺地遺跡で確認されており、約2000年前となります。その頃、日本に渡来したといえは稲作です。そして、日本の稲作文化の源といわれているのが中国・長江流域で、その遺跡から東アジアで最も古い結核の痕跡が約5000年前の女性の人骨から見つかり、稲作と結核がセットで日本にもたらされた可能性があるのです。

問2 何と2億2500万人を数えるとか。年間の死亡者は78万人なので、目立ちませんが、マラリア流行国に行くときは気を付けたいものですね。

問3 ニパウイルス感染症は、ウイルスが最初に分離された脳炎患者の出身地を流れる川の名から付けられています。それがマレーシアのスンガイ地方にあるニパ川です。